



2022 知的障がい者サッカー地域トレセン対抗戦

(東日本対抗戦)

【実施要綱】

1 目的

- (1) サッカーを通じて、知的障がい者の自立と社会参加を図る。
- (2) 知的障がい者のスポーツ活動に対する社会一般の理解と認識を深める。
- (3) 地域単位の対抗戦とすることで、日本全体の知的障がい者サッカー競技レベルのさらなる向上を図る。

2 主催

特定非営利活動法人日本知的障がい者サッカー連盟 技術委員会

3 主管

関東知的障がい者サッカー連盟

4 期日

令和5年1月21（土）・22日（日）

5 会場

ミンションやまざき（〒314-0408 茨城県神栖市波崎 9573）

6 宿泊

ミンションやまざき（1泊2食 7,700円）

※新型コロナウイルス感染症 感染防止対策を徹底する。

7 参加資格

- (1) 令和4年4月1日現在で満13歳以上の知的障がい者で構成された選抜チーム
- (2) 各地域を代表するチーム（地域トレセン）
- (3) 選手・スタッフ共にスポーツ傷害保険に加入していること
- (4) 1チームの人数は、選手18名以内、スタッフ5名以内とする

8 内 容

別紙の地域対抗戦実施要項参照

9 備 考

新型コロナウイルス感染症の感染対策を徹底した上で、東日本、西日本と分散して地域トレセン対抗戦を行うことで、移動範囲の制限や密集を少しでも緩和しやすい状況をつくり、知的障がい者サッカーのトップレベルの競技を発揮することができる機会とする。

10 参加申し込み

別紙参加申込書に必要事項を記入して、事務局までメールで送信する。(締め切り 12月 12日)

申し込み後　　日までに宿泊費の振り込みをお願いいたします。

振込先

【問合せ先】

2022 知的障がい者サッカー地域トレセン対抗戦(東日本対抗戦)事務局

担当：西村 拓

E-mail : tn515201@yahoo.co.jp

【地域対抗戦実施要項】

1 参加チーム

- ①東北トレセン ②関東トレセン ③東海トレセン

2 開・閉会式

- (1) 開会式は行わない。
(2) 閉会式はリーグ最終戦後に全員で行う。

3 招集

- (1) 試合毎に、メンバー表2枚（11名の出場選手と7名の交代選手）を試合開始30分前までに、競技本部に提出する。（用紙は、各チームで用意する。）

※ユニフォームは、事前に対戦チーム監督同士で確認の上、微妙な色の重なりがある場合は、本部（審判）まで確認を行う。

- (2) 招集時刻は、原則として試合開始5分前とし、本部テント前に集合する。

4 日程

（1日目） 対抗戦① 45分×1本 試合球は各チームで用意する。

試合開始時間	東日本地区 [交流戦]	
13:30	①東北	②関東
14:40	②関東	③東海
15:50	①東北	③東海

※ 45分ゲームとする。

※ ピッチ内アップは、試合開始時間20分前から5分前までの15分間を基本とする。

（2日目） 対抗戦② 30-10-30 試合球は各チームで用意する。

試合開始時間	東日本地区 [対抗戦]	
9:00	①東北	②関東
10:45	②関東	③東海
12:30	①東北	③東海
14:00	閉会式(表彰 → 技術委員長大会総評)	
14:10	解散	

ピッチ内アップ時間帯	東日本地区 [対抗戦]	
8:35～8:50	①東北	②関東
10:20～10:35	②関東	③東海
12:05～12:20	①東北	③東海

※ 上記の表の時間帯、及び、当該試合前のハーフタイム時

5 競技規則

- (1) 令和4年度公益財団法人日本サッカー協会サッカー競技規則に準じ、実施要項及び事前の申し合せ事項により実施する。
- (2) 登録は1チーム18名までとし、試合中の選手の交代は7名までとする。
- (3) 対抗戦①は45分ゲーム、対抗戦②は30分-10分-30分の60分ゲームとし、対抗戦①及び対抗戦②の勝ち点の合計により順位を決める。なお、勝ち点は、対抗戦①及び対抗戦②のそれぞれの試合において、勝ち：3点、引き分け：1点、負け：0点とし、最終的に勝ち点が同点の場合は、得失点差、総得点、総失点、当該チーム同士の成績、抽選の順で順位を決める。
- (4) 大会中、退場処分を受けた競技者は、次の1試合に出場できない。警告処分等は本大会のみに適用され、持ち越しはしない。
- (5) 各チームのピッチ内でのウォーミングアップの時間は、対抗戦①については、当該試合開始時間20分前から5分前までの15分間を基本とする。対抗戦②については、当該試合前のハーフタイム時、及び、当該試合開始25分前からの15分間とする。
- (6) 本部、審判（主審、副審）は試合当該チーム以外のチームが行う。各チームの指導スタッフは審判着の着用、もしくは黒の上下を用意する。

6 競技方法

- (1) メンバー表に記載した交代選手の中から7名の交代ができる。交代したものが再度ピッチに入ることはできない。
- (2) 競技中、選手に不測の事態が生じたり、介助を必要としたりする時などは、主審にその旨を伝え指示をあおがなければならない。
- (3) トレセンとしてのユニフォームが用意出来ない場合は、都道府県名のユニフォームでも構わない。
- (4) アンダーシャツやスパッツを着用する際は、チームで統一した色を使用する。
- (5) 監督者会議は実施せず、質問等は本部まで確認する。
- (6) ベンチは、参加チームの若い番号が、ピッチに向かって左側とする。
- (7) 競技場内では、選手、監督、コーチ、及び主催者が認めた関係者（マスコミ等）以外入場することができない。（ただし、付添者については、別途考慮することがある。）
- (8) 大会参加者の大会開催中における傷病、競技中のけがについては、各チームで対応する。病院への搬送等についても各チームで行うこととする。傷害保険には、チームで必ず加入すること。ただし、近隣の病院は本部にて紹介する。
- (9) 本大会へ参加する選手について、閉会式及び競技中において、大会本部より許可された報道関係者における新聞やテレビ放映のための写真撮影、VTR撮影等についてのことを了承した上、参加できるよう各チームにて配慮願う。ただし、個人写真の使用、個人にインタビュー等については、事前承諾にて確認を取る。
- (10) 降雪・雨天時の取り扱い…原則実施（警報等が出た場合は、本部より連絡する）

7 表彰

1位のみ表彰を行う。（賞状の授与）

8 その他

要項、結果、写真については、特定非営利活動法人日本知的障がい者サッカー連盟のホームページに掲載